

開講科目名 / Course	特別活動論 / On Extracurricular Activities
時間割コード / Course Code	V0225
ナンバリングコード / Numbering Code	
開講所属 / Course Offered by	教職科目 / Teaching Course
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 前期 / First Semester
曜限 / Day, Period	集中 / Other
開講区分 / semester offered	2学期 / 2Term
単位数 / Credits	1.0
学年 / Year	2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi
科目区分 / Course Group	教職科目 教職に関する科目 / 教職科目 教職に関する科目
教室 / Classroom	
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	降旗 信一 / FURIHATA Shinichi (農学部 / Faculty of Agriculture)、板倉 浩幸 (農学府 / Graduate School of Agriculture)、井村 礼恵 (農学府 / Graduate School of Agriculture)、山本 理 (農学府 / Graduate School of Agriculture)
概要 / Outline	学校における教科外の教員の諸活動 (主に学級担任の職務) を理解する。
到達基準 / Standard	学級担任の職務の内容 (集団作り、文化的行事、体育的行事、人権教育や生命尊重の教育など) やその方法を理解し、「自分ならこのように生徒を指導する」という具体的な構想を表現することができるようになる。(内容の理解力、具体的指導方法の構想力、文章表現力)
授業内容 / Schedule	この授業は集中講義で、8月20日(水)から21日(木)まで、長野県小諸市で実施します。希望者多数の場合は抽選になります。抽選に漏れたり、諸事情で現地参加できない方のためには別課題をだしますので現地参加できなくても履修できます。 詳細は下記のクラスルームでお知らせします。 Google classroom R8 特別活動論 クラス コードatftpu6z 定時開講と一部集中講義 特別活動とは何か考える。(自分で受けてきた何が特活か。目的と内容、攻守間の比較など) 個の自立と集団規律訓としての「宿泊活動」の指導方法。 主権社教育を考える。(環境問題を自分事として考える。) 子どもの保護者対応を考える。 子どもたちの多様性への配慮について考える。 子どもへの対応を考える。 性教育について考える。 権教育について考える。
履修条件・関連項目 / Requirements	配当学年以上の学生であれば、両学部の教職課程履修学生が履修できる。
テキスト・教科書 / Text book	中学校・高等学校学習指導要領 (各自でダウンロードしておいて欲しい)
参考書 / Reference book	授業内で紹介する。
成績評価の方法 / Grading	2日間のすべてに参加し、その課題への取り組みと自然体験活動の指導計画案によって評価します。一泊二日の宿泊で行う。参加できない場合は、記録動画視聴をしてレポートを提出する。
教員から一言 / Something	
キーワード / Keyword	特別活動、学級活動、ホームルーム、生徒会活動、学校行事、人権教育

オフィスアワー / Office Hours	非常勤講師のため、オフィスアワーはない。
備考 1 / Note 1	【2025年度クラスルーム】j6xeona
備考 2 / Note 2	
参照ホームページ / Url	文部科学省 学習指導要領のホームページ
開講言語 / Teaching language	日本語/Japanese
語学学習科目 / Language study subjects	

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時)	主題と位置付け(担当)	学習方法と内容	備考
第1回	事前説明 講義	個の自立と集団規律訓としての「宿泊活動」の指導方法。 ・「特別活動とは何か」課題提示「Jamboard」「FigJam」	
第2回	講義 「特活とは」	2特別活動とは何か考える。 (自分で受けてきた何が特活か。目的と内容、校種比較など)	
第3回	体験	3環境を考えるプログラム体験 (環境問題を自分事として考える。) 『パッケージプログラム』	
第4回	体験「食事」	4食育プログラム体験「手打ちうどん」 (小麦粉・つゆのもと・油揚げ・野菜・天ぷら)	
第5回	体験・講義	子どもの対応・保護者対応を考える。	
第6回	体験・講義	キャリア教育・性教育・人権教育について考える。	
第7回	体験・講義	子どもたちの多様性への配慮について考える。	
第8回	活動	8特別活動について、目的に対する評価、指導方法、改善点等について、全体で討議し、自分の考えをまとめる。 ・授業構想案の作成(提出は後日)	
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			